

事業番号	07 05 02	事業改善シート (27年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	障がい者スキルアップセミナー事業			担当課	部局	産業労働部	
総合5か年計画	プロジェクト				課・室	人材育成課	
	施策の総合的展開	1-1 信州を牽引するものづくり産業の振興 等 4 人材の育成・確保			E-mail	jinzai@pref.nagano.lg.jp	
				実施期間	H27.4 ~ H28.3		

### 1 事業の概要

目指す姿	障がい者の就労に向けたスキルアップを図るため、アビリンピック(全国障害者技能競技大会)種目を活用したセミナーを開催し、障がい者の技能習得と雇用の促進を目指す。 また、セミナーの開催を通じ、障がい者が自信と誇りをもって労働者として社会に参加することを目的とした「ながのアビリンピック(県障がい者技能競技大会)」の参加者の拡大を目指す。				
現状(予算編成時)	平成26年度に開催された第35回アビリンピックには、12種目12名の長野県選手が出場し、招へい者(※)を除く10名中6人が入賞した。これまでの大会での成績が事業主に認められ、就職につながった事例が出る等、雇用の促進が図られている。 (※招へい者:第9回国際アビリンピック派遣選手の選考のため招へいされた第33・34回大会における金賞受賞者)				
県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】 アビリンピック種目を活用し、障がい者の技能向上を図ることで、雇用の促進へとつながる事業である。県全域を対象とした事業であり、障がい者雇用促進の観点から県の関与が必要である。			
成果目標・事業内容	① 成果目標(H27)				
	○H27年度を3期に分け、毎期5種目の障がい者スキルアップセミナーを開催。(15種目(定員10人)を実施し、参加者数150人を目指す。) ○H27年度に開催されるながのアビリンピック(県障がい者技能競技大会)の参加者拡大を目指す。(H26年度77人→H27年度80人)				
	② 事業内容 (単位:千円)				
	項目	実施方法	H27事業実績		H28
			(当初)	(決算)	(当初)
	障がい者スキルアップセミナーの開催	委託	障がい者の就労に必要なスキルアップを図るためのスキルアップセミナーを開催	7,269	5,495
					0
			合計	7,269	5,495
					0

事業コスト	区分(単位:千円)	25年度	26年度	27年度	28年度	成果目標の達成状況						
	予算額	前年度繰越					項目	H26末(実績)	H27			H28目標
		当初予算	5,652	5,643	7,269	0			目標	成果	達成状況	
		補正予算					スキルアップセミナー参加者数	-	150人以上	223人	達成	-
		合計(A)	5,652	5,643	7,269	0	ながのアビリンピック参加者数	77人	80人	80人	達成	-
	Aの財源	一般財源										
		県債										
		国庫支出金										
		その他	5,652	5,643	7,269	0						
	決算額(B)	4,639	5,398	5,495								
概算人件費	職員数(人)	0.10	0.10	0.10								
	概算人件費(C)	826	826	828	0							
概算事業費(B(A)+C)	5,465	6,224	6,323	0								

目標に対する成果の状況	スキルアップセミナー参加者数については、開催場所を事業所等の希望に合わせて実施したことにより、目標値を上回ることができた。また、ながのアビリンピック参加者数の目標値も達成した。
-------------	------------------------------------------------------------------------------------------

### 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input checked="" type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	平成28年度からは、「信州ものづくり未来塾事業」(産業人材育成支援センター事業の一部)において、障がい者技能向上に対する支援を継続して行っていく。